

むらたまち 議会だより



かわいい おひなさま（むらた町家の雛めぐり）

● 平成31年度当初予算 … 2

● 予算審査特別委員会 … 6

● 3月定例会議案審議 … 9

● ズバリ!町政を聞く【一般質問 7人】 … 12

● 常任委員会レポート … 21 他

Vol.113

2019.5.1.

平成31年度 予 算

一般会計予算

51億5千914万3千円

前年度比 2.0%増

総額 87億5千347万9千円

平成31年度各種会計予算を可決

3月定例議会に平成31年度各種会計予算案が提案されたことを受け、議長を除く全議員で構成する『予算審査特別委員会』を設置し、3月6日から13日まで村田町一般会計、特別会計、企業会計あわせて9会計の予算審議を行いました。

吉野敏明予算審査特別委員会委員長から、9会計はいずれもこれを可決すべきものと決定した旨の報告を受け、その後採決を行いました。

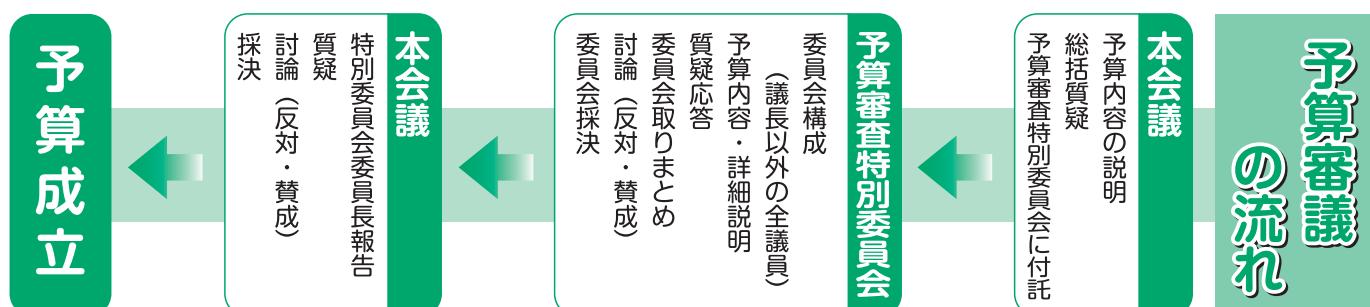
一般会計及びその他の特別会計と企業会計は採決の結果、全会一致で可決されました。

平成31年度会計別当初予算

(単位: 千円・%)

会 計 名	平成31年度	平成30年度	増 減 額	増 減 率
一 般 会 計	5,159,143	5,055,875	103,268	2.0
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 事 業	1,281,574	1,223,691	57,883 4.7
	後 期 高 齢 者 医 療	120,631	125,310	△ 4,679 △ 3.7
	介 護 保 険 事 業	1,148,440	1,163,396	△ 14,956 △ 1.3
	公 共 下 水 道 事 業	388,065	382,264	5,801 1.5
	農 業 集 落 排 水 事 業	34,928	32,893	2,035 6.2
	宅 地 造 成 事 業	20,510	44,110	△ 23,600 △ 53.5
企 業 会 計	上 水 道 事 業	592,293	553,614	38,679 7.0
	工 業 用 水 道 事 業	7,895	7,629	266 3.5
合 计	8,753,479	8,588,782	164,697	1.9

※企業会計については、収益的支出と資本的支出の合計を記載しています。



「みんなで育てる自分たちの町 むらた」

平成31年度各種会計予算主要事業 (単位 : 千円)

ひとを育てる 心豊かなまちづくり



村田小学校
図書室

- 学校教育 小中学校情報化推進事業(21,163)
学校図書購入(1,000)
社会教育 むらたっ子応援団事業(1,166)
芸術文化 伝統的建造物群保存地区保存事業(25,200)

まちごと元気な 産業づくり



- 農業 南田・新舟渡排水対策事業(1,860)
鳥獣被害対策実施隊育成事業(1,210)
商工業 移住支援・マッチング支援事業(3,000)
地域おこし協力隊事業(12,884)
観光振興 みやぎ三源郷交通アクセス向上事業(21,963)

自然豊かなまちづくり

- 環境保全 河川水水質検査事業(420)
環境衛生 柴田斎苑建替えに伴う地域
コミュニティ活性化事業(40,477)

みんなで創るまちづくり

- 住民参加 定住促進事業(3,000)
各地区地域づくり事業への支援(900)
広報広聴 広報むらた発行経費(3,288)

健康で共に支え合う 福祉のまちづくり



- 保健子育て 健康で各種検診及び健康増進事業(26,160)
社会福祉協議会運営費補助(12,796)
高校生以下に対する医療費助成(35,703)
すくすく村田っこ支援事業(1,150)
高齢者支援 高齢者の健康づくりのため温泉入浴券支給(525)

安全・安心で快適に暮らせる 生活基盤づくり



- 都市計画 危険ブロック塀等除却事業補助金事業(2,500)
道路交通網 市町村道整備事業【関場線】(50,000)
市町村道整備事業【舗装修繕】(123,000)
上水道 配水管布設替等建設工事(87,316)
情報通信 固定資産評価替経費(24,735)

町の財布の中身は?	自主財源	町税 1,316,366 千円
	使用料・手数料等	324,929 千円
	繰入金	269,585 千円
	地方交付税	1,850,000 千円
	交付金等	325,601 千円
	国県支出金	692,262 千円
依存財源	町債	380,400 千円
	歳入の合計	5,159,143 千円

(単位 : 千円 ※他に予備費1,000千円)

一般会計 歳出内訳	議会費 92,956	総務費 807,676	民生費 1,162,424	衛生費 599,425	労働費 16,513	農林水産業費 232,750
	商工費 115,349	土木費 590,435	消防費 211,765	教育費 595,012	災害復旧費 500	公債費 733,338

平成31年度一般会計予算

総括質疑



平成31年度の一般会計当初予算是、51億5千9千4万3千円と前年比で1億3千26万8千円の増、2%増となつた予算案に對し、大局的な觀点から総括質疑を行いました。

財政運営の手立てを講じるよう努める。

- 財政について**
- 経常経費や投資的経費の増加によつて、基金からの取り崩しや起債に依存する厳しい予算編成となつた。予算要求額に対し圧縮額と不足分に及ぼす政策的な影響は出ないのか。**
- 歳入は景気動向含め変動要因によつて影響を受けるが、歳出は住民サービスに直結する経費を措置しており政策的な影響は出ないと考えている。**
- 新規事業等における特別交付税措置が見込まれる選定事業はどうぞぐらに計画しているのか。**
- 農作物有害鳥獣被害防止対策協議会補助金や地域おこし協力隊活動費に係る事業を計画している。**
- 財政調整基金の2019年度末残高の見込み額は。**
- 新年度に1億9千287万円を取り崩す予定で、年度末残高は8千200万円と見込んでいる。大変厳しい状況にあり、過度に基金に依存しない**
- 問** 経常経費や投資的経費の増加によつて、基金からの取り崩しや起債に依存する厳しい予算編成となつた。予算要求額に対し圧縮額と不足分に及ぼす政策的な影響は出ないのか。
- 答** 歳入は景気動向含め変動要因によつて影響を受けるが、歳出は住民サービスに直結する経費を措置しており政策的な影響は出ないと考えている。
- 問** 新規事業等における特別交付税措置が見込まれる選定事業はどうぞぐらに計画しているのか。
- 答** 農作物有害鳥獣被害防止対策協議会補助金や地域おこし協力隊活動費に係る事業を計画している。
- 問** 財政調整基金の2019年度末残高の見込み額は。
- 答** 新年度に1億9千287万円を取り崩す予定で、年度末残高は8千200万円と見込んでいる。大変厳しい状況にあり、過度に基金に依存しない
- 問** 学校教育環境について
- 就学前児童教育福祉施設のあり方についての検討経過と課題の解消が年度内に図れると見通しているのか。**
- 幼稚園については、統合する場合の課題や子どもたちの関わり方など、保護者の意見もいたいたので作業工程も含め検討している。保育所については民営化を実施する法人の特定に向けた作業や許可、補助申請など国県への事務手続や関連会議などの実施を含め詳細検討を行つてある。**
- 問** 最近開催された総合教育会議の検討内容について伺う。
- 答** 基本方針の実施に向けた作業工程などの確認や協議が主な内容である。また、出生者数の最近のデーターを検証したうえで、学校教育環境のあり方の基本方針の内容に修正を加える必要性があるのではないかとの意見もあり、基本方針の方性に変更はないが、修正を加えるべき要因を分析し各部局において更なる検討を加えることを確認した。
- 問** 水道事業コンセッション導入可能性調査について
- 人口減による水需要の減少と各施設の老朽化により、少と各施設の老朽化により、維持管理費が年々増加することを見込まれ、包括的民間委託導入に向けた現在の進捗状況と新規事業の改定等もあり議員各位に詳細説明の協議の場を設け受注業者を選定し決定する予定。**
- 問** 地方創生総合戦略について
- 道の駅村田などとの回遊として3年を迎える。道の駅と街中心部の回遊ルートの強化策や事業展開するうえでの人的支援が求められるが、どのように方策を講じていく考えなのか。**
- 答** 強化を進め、地域おこし協力隊の増員と、連携した事業展開を図りながら、新たな自走モードの構築に取り組んでいく。
- 問** 村田町宅地造成事業について
- 新たに宅地造成し子育て世代を中心に定住・移住促進を図り宅地販売に結び付けることが重要である。宅地分譲における募集区画数、平均面積はどうどのように検討しているのか。**
- 答** 新たに宅地造成し子育て世代を中心に定住・移住促進を図り宅地販売に結び付けることが重要である。宅地分譲における募集区画数、平均面積はどうどのように検討しているのか。また、各種助成や住宅取得支援の優遇策を打ち出す分譲戦略をどう進めていくのか。
- 問** 地方創生総合戦略について
- (株)まちづくり村田を設立して3年を迎える。道の駅と街中心部の回遊ルートの強化策や事業展開するうえでの人的支援が求められるが、どのように方策を講じていく考えなのか。**
- 答** 強化を進め、地域おこし協力隊の増員と、連携した事業展開を図りながら、新たな自走モードの構築に取り組んでいく。
- 問** 水道事業コンセッション導入可能性調査について
- 人口減による水需要の減少と各施設の老朽化により、少と各施設の老朽化により、維持管理費が年々増加することを見込まれ、包括的民間委託導入に向けた現在の進捗状況と新規事業の改定等もあり議員各位に詳細説明の協議の場を設け受注業者を選定し決定する予定。**
- 問** 地方創生総合戦略について
- 道の駅村田などとの回遊として3年を迎える。道の駅と街中心部の回遊ルートの強化策や事業展開するうえでの人的支援が求められるが、どのように方策を講じていく考えなのか。**
- 答** 強化を進め、地域おこし協力隊の増員と、連携した事業展開を図りながら、新たな自走モードの構築に取り組んでいく。



平成31年度一般会計予算

総括質疑

中核病院に対しても
労働基準監督署から
是正勧告を受ける。
関連して設置者の

一員である町長の考え方
を問う。

みやぎ県南中核病院の設置者は
一市三町です。最終的に赤字
等の負担は設置者に求められる
心配が残る。「みやぎ県南中核

病院」で平成27年4月から平成
29年4月まで職員へ残業代1億
5千万円から2億円くらいの未
払いがあり、大河原労働基準監
督署からは是正勧告を受けたので、
設置町としてこれを看過することは
できず、平成31年度予算審査に
あたり総括質疑を行いました。

質疑の要旨と町長の答弁は次の
とおりです。

看護部長の上位職の看護
管理者として招へいする方
の大学病院での立場は何か。

現在看護師長である。

看護管理者を招へいする
ことで看護師に関する諸問題
が解決できると考えるか。
看護師確保室を設置し、
採用・人事・配置等を統括。



今話題の働き方改革にも
対応可能なものか。
看護部の勤務体制を見直し、
改革にも対応と考える。

時間外勤務命令簿は存在
していたものか。
時間外勤務を行った時は
時間外勤務命令簿に記載して
いたとのこと。

時間外勤務命令簿は存在
していないか。
未払い分を支払う方針との
こと、過年度分の支払いで平成
31年度の現金収支見通しに問題
はないのか。

予算上、現金収支は赤字
とのことだが、累積となつた場合の対応の考え方。
経営健全化5ヵ年計画を策定し、経営健全化に努める。

是正勧告について
設置者である町長は是正勧告書を見ていないとの答弁であり、確認をしないのであれば何を調査しているのか。
状況が判明した分について具体的に報告したいと思う。

職員への残業代1億5千
万円の年度別内訳は。
構成市町の負担額と財源内訳は?
構成市町の負担金には含まれていない。

残業代未払い対象者は延べ400人のこと。年度別内訳と対象職種の内訳は。
現在個別面談の最中で提示できない。対象者の職種は看護師部門・技師部門・事務部門となっている。

看護師の勤務は24時間で当然交代制と思うが時間外勤務の発生要因は何か。
手術が予定より長引いたもの・急な入院の対応・患者の様態への臨機応変な対応などがあげられる。

近年公共団体はもちろん世間一般的にも争う余地がない不祥事に対して処分等がなされているが中核病院ではどう措置したのか。
現段階において明確な回答はできない。

平成31年度の実質純損益は、1億8千26万7千円で借入額が増加してしまったため今後更なる経営改善策に取り組んでいく。

平成31年度

予算審査特別委員会

平成31年度の各種会計予算審議にあたり、本会議から予算審査特別委員会に、その審査が付託されました。その後、委員長に吉野敏明議員を選出し、3月6日から13日までの8日間にわたり慎重に審議し、予算関連の現地調査も実施しました。委員会採決の結果、いずれの予算も原案のとおり可決すべきものと決定されました。



審査結果を報告する吉野敏明特別委員長



ふるさと納税返礼品

この質疑応答は、予算審査

特別委員会において平成31年

度予算を決定することにあた
り審議内容を抜粋し、質問の
一部を記載します。

問 廃棄物処理、上下水道
料金、農業集落排水、工
業用水、10月から税率改正に
伴い引き上げをした。住民票

等の交付手数料の税率改正は。
当初予算では改定する
予定はない。

員で安全点検等を行うために
委託料は計上しなかった。

答 3年に一度専門業者に
より点検を依頼し予算を
計上しているが、今年度は職

問 民生費
児童福祉施設費、昨年
まで委託料計上されてい
たが、今年度削除された理由
は。

答 利用者の方が伸び悩み、
一部要綱を改正し、65歳
以上に引き下げを行い、申請
についても本人確認さえでき
れば渡すように簡素化した。
配布場所についても、支所、
出張所、健康教室などを考
えている。

問 町税関係で固定資産税
の償却資産が4千万円ぐ
らい減少したが要因は。
答 平成30年度も補正で3
千200万円ほど減額し
た。償却資産については、企
業の設備投資でもない限りこ
の結果となつた。

問 が前年と同じ予算だが、
本年度の納入見込みは。
答 昨年度は700万円を
超えた。昨年同様1千万
円を目指し計上した。

問 高齢者健康入浴支援事
業委託料2年前は100
万円予算化されていたが、今
年度は36万円予算化されて先
細り予算になつていて。役場
の窓口で申請する形で新年度
も計画しているのか。

問 歳入
町税関係で固定資産税
の償却資産が4千万円ぐ
らい減少したが要因は。
答 平成30年度も補正で3
千200万円ほど減額し
た。償却資産については、企
業の設備投資でもない限りこ
の結果となつた。

問 地域おこし協力隊の報
酬費597万6千円。地
域おこし協力隊活動費補助金
600万円、この制度の内
容は。

問 敬老祝金、80歳で5千
円、90歳で1万円、10
0歳で30万円支給しているが、
何人ぐらい見込んでいるのか。
答 当初予算の人数は80歳
が69名、90歳が33名、10
0歳が5名と、実績をみて予
算を計上した。

問 廃棄物処理、上下水道
料金、農業集落排水、工
業用水、10月から税率改正に
伴い引き上げをした。住民票
等の交付手数料の税率改正は。
当初予算では改定する
予定はない。



土木費

問 日照田天沼線全体の起点と終点は。

答 全体計画での設計作業は終わっている。今年度予算に係る起点、終点は発注段階で変わる可能性がある。

問 町道関場線は、設計で総延長880メートル。

答 橋梁の改良を含め実施計画どおりに進んでいるのか。

問 地域福祉センターへの委託料が前年より40万円近く高くなっている要因は。

答 社協では健康マージャン教室、町ではオレンジカフェなどの事業を開催しており、年々利用者が増加し、光熱水費などの経費がかかり実績を見ながら予算を計上した。



問 葦生姥ヶ懐線、新規事業だが、平成31年度から4・4キロメートルとなつているが概要についての説明は。

答 全体計画での設計作業は岩沼蔵王線の一部トンネル併用工事が進められて、両方の幹線道路を連絡する町道が発道でもあり、舗装構成の改修も図っていく。

問 町道菅生姥ヶ懐線

答 改良工事220メートル分を計上している。国の補助事業を使い要望額が満額計上された場あい実施していく。



問 消防費

答 消防施設費で、今年度は防火水槽の建設費が入っていないが、設置計画の中で新たに設置する箇所がないということで理解していいのか。

問 財政調整基金繰入金、財政基金残高は。

答 起点側は菅生スマートインターチェンジ整備事業が進められており、終点側は岩沼蔵王線の一部トンネル併用工事が進められて、両方の幹線道路を連絡する町道が発道でもあり、舗装構成の改修も図っていく。

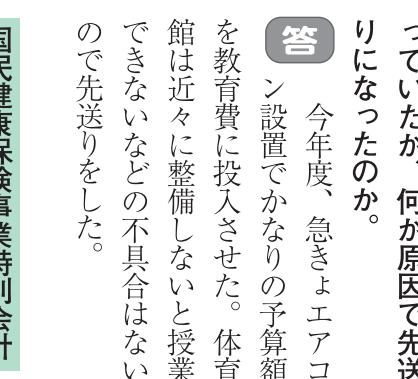
教育費

問 第一中学校校舎体育館改修工事を平成30年度に実施計画書では平成31年度に2億円の改修をすることになりになつたのか。

答 今年度、急きよ工アコン設置でかなりの予算額を教育費に投入させた。体育馆は近々に整備しないと授業できないなどの不具合はないので先送りをした。

問 国民健康保険事業特別会計出産育児一時金210万円減額された理由は。

答 国保加入者の出産予定者が10人、昨年度の実績より減ることでこの予算を計上した。



後期高齢者医療特別会計

問 保険料、特別徴収、普通徴収されている人数にどれだけ該当されているのか。

答 前年度の調定額で按分されるので正確ではないが、特別徴収で約1千800人、普通徴収で255人程度です。

問 介護保険事業特別会計要支援、要介護認定者数は全体で何人なのか。

答 平成30年10月現在、合計で602人です。

問 宅地造成事業特別会計平成30年度予算が工事代5千981万6千円でスタートした。13区画で土地代はいくらになるのか。

答 基本的には会計の中でもいいので、その範囲内の金額にしたい。

平成31年度

予算審査特別委員会

石生地区宅地造成事業予定地



武家屋敷(旧田山家)



予算審査特別委員会最終日の3月13日に現地視察調査を行いました。今回、石生地区宅地造成事業予定地（旧石生住宅）、町道日照田天沼線、武家屋敷（旧田山家）の3カ所について調査を行い、施設の状況や工事の進捗状況などの確認をしました。



予算審査特別委員会委員による現地調査

平成31年度 予算審査特別委員会意見

本議会において、予算審査特別委員長より町執行部に対して、次の委員会意見を提出しました。

1. ほ場整備については、各地区の推進協議会設立に向けて鋭意努力すること。
2. 野外活動センターの運営に関しては、これまで指定管理していたものを町直営としたが、運営を持続的に行うには、行政による対応だけでは限界があることを踏まえ、施設を民間に貸す、あるいは売却するなど、あらゆる観点から比較検討し早期にその方向性を見出すこと。
3. 平成31年度実施予定の町道整備については、町民の利便性と安全確保を考慮し、計画性を持って事業の推進に努めること。
4. 農家の安定収入確保の観点から、収益性の高い園芸作物の普及に向け指導・助成を行うこと。
5. 防火水槽等の消防施設については、年次計画を持って整備にあたると共に、町民の防災意識向上のため、自主防災組織等に対する指導・助言を的確に行うこと。

3月定例会

(平成31年3月5日～15日)

46 案件を 議決

こんなことが決定されました。

平成31年第1回 定例会

条例



【原案可決】

■村田町森林環境整備基金条例の制定について

条例

平成31年第1回定例会は、3月5日から15日までの11日間にわたり開催されました。この定例会では、条例の制定1件、条例改正12件、補正予算7件、31年度各種会計予算9件、人事10件、報告3件、その他4件が提案されました。また、一般質問は、7人の議員が町の対応や考え方を質しました。

【原案可決】

■村田町下水道条例の一部を改正する条例

【原案可決】

■村田町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

【原案可決】

■村田町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例

【原案可決】

■村田町下水道条例の一部を改正する条例

【原案可決】

部を改正する条例

【原案可決】

■村田町児童館設置条例の一部を改正する条例

【原案可決】

■村田町武家屋敷（旧田山家）条例の一部を改正する条例

【原案可決】

■村田町工業用水道事業給水条例の一部を改正する条例

【原案可決】

■村田町水道布設工事監督者部を改正する条例

【原案可決】

■村田町上水道給水条例の一部を改正する条例

【原案可決】

■平成30年度村田町公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）

【原案可決】

■平成30年度村田町宅地造成事業特別会計補正予算（第2号）

【原案可決】

事業特別会計補正予算（第3号）

条例

補 正 予 算

【原案可決】

■村田町農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

【原案可決】

■平成30年度村田町後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）

■平成30年度村田町国民健康保険事業特別会計補正予算（第5号）

■平成30年度村田町一般会計補正予算（第6号）

■平成30年度村田町国民健康保険事業特別会計補正予算（第7号）

■平成30年度村田町介護保険事業特別会計補正予算（第8号）

■平成30年度村田町宅地造成事業特別会計補正予算（第9号）

【原案可決】

平成30年度 各種会計予算 補正額

(単位：千円)

会計名	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計（第6号）	5,418,898	183,346	5,602,244
特別会計	国民健康保険事業（第4号）	1,261,401	54,536
	後期高齢者医療（第2号）	121,878	△ 1,937
	介護保険事業（第3号）	1,187,040	0
	公共下水道事業（第3号）	392,523	△ 1,700
	宅地造成事業（第2号）	61,510	△ 1,694

人 事

■村田町固定資産評価審査委員会委員の選任に同意を求めるについて

任期満了（3年）

に伴い選任するもの

氏名 蘇武 清一さん（村田）

【全会一致・同意】

■人権擁護委員候補者の推薦について

氏名 伊藤 恒雄さん（菅生）

【全会一致・同意】

報 告

■損害額及び損害賠償の額を定め和解することについての専決処分の報告について

損害額を定め和解することについて

についての専決処分の報告について

【原案可決】

を指定することについて議会の議決を求めるもの

期間 平成31年4月1日から1年間

代表者 理事長 小川隆秀
代表取締役 今野 幸衛
【原案可決】

■工事請負契約の締結について

工事名 平成30年度村田第二小学校、村田第二中学校工アコン設置工事

施工場所 柴田郡村田町大字沼辺地内

契約の相手方 柴田郡村田町大字村田字二月田10番地1
株式会社 大慎組
代表取締役 大沼 佑

平成31年第2回臨時会は、3月28日の1日間、開催されました。

この臨時会では、工事請負契約の締結について2件が提案されました。

契約金額 1億1千738万6千280円

■工事請負契約の締結について

工事名 平成30年度村田小学工事
校、村田第一中学校工アコン設置工事

【原案可決】

■村田町農業委員会委員の任命について

任期満了（3年）に伴い任命するもの。

氏名 前野 幸子さん（村田）

氏名 渡邊 長松さん（小泉）

氏名 南部 仁さん（村田）

氏名 丹野 敬吉さん（足立）

氏名 山家 文雄さん（沼田）

氏名 大沼 善明さん（薄木）

氏名 櫻井とし子さん（沼辺）

氏名 小山 昭一さん（菅生）

氏名 大沼 善明さん（薄木）

氏名 櫻井とし子さん（沼辺）

そ の 他

■仙南地域公立認可保育所の相互利用に関する協定の廃止に関する協議について

【原案可決】

町道の路線廃止について(道路網の再編のため町道を廃止する路線) 【原案可決】

路線番号	路線名	起 点	終 点
121	谷地下倉線	菅生字下倉55	菅生字下倉38
196	石生三号線	村田字石生317-3	村田字後田47-49
197	石生四号線	村田字石生317-3	村田字後田47-49
198	石生五号線	村田字石生317-3	村田字石生317-3

町道の認定について(町道として認定する路線) 【原案可決】

路線番号	路線名	起 点	終 点
121	谷地下倉線	菅生字下倉55-2	菅生字田中8
238	石生十二号線	村田字石生317-1	村田字石生317-1
239	姥ヶ森山線	小泉字姥ヶ森山1-6	小泉字姥ヶ森山1-6
240	北赤坂山線	小泉字北赤坂山1-1	小泉字北赤坂山1-13

■指定管理者の指定について

村田町が設置する公の施設

の管理を行わせる指定管理者



村田小学校

意見が分かれた議案の賛否一覧

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
議員	菊地	大沼	鈴木	遠藤	高橋	大内	渡辺	村上	佐藤	佐藤	吉野	斎藤	太田	大沼	議決結果 (賛成:反対)
議案	睦夫	吉隆	保博	実	勝	敬子	元道	登	正隆	洋治	敏明	万之丞	初美	克巳	
議案第9号 村田町下水道条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	議 可決(11:2)
議案第11号 村田町上水道給水条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	議 可決(10:3)
議案第13号 村田町工業用水道事業給水条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	議 可決(11:2)

※表記の区分 ○:賛成 ×:反対 議:議長は採決に加わらない

平成30年度一般会計予算 繰越明許費内訳

(単位:千円)

款・項	事業の内容	繰越額
2. 総務費		
1. 総務管理費	基幹系システム元号改正対応改修事業 内部情報系システム元号改正対応改修事業 番号連携システム元号改正対応改修事業 住民基本台帳ネットワークシステム元号改正対応改修事業	3,301 3,007 467 208
3. 戸籍住民基本台帳費		
3. 民生費		
2. 児童福祉費	子ども・子育て支援新制度システム 元号改正対応改修事業	415
8. 土木費		
2. 道路橋りょう費	市町村道整備事業	49,857
4. 都市計画費	都市計画道路小池石生線事業	7,864
9. 消防費		
1. 消防費	防災・安全交付金効果促進事業	5,000
10. 教育費		
1. 教育総務費	ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金事業	385,698
5. 社会教育費	公民館施設維持管理事業	852
6. 保健体育費	町民体育館施設維持管理事業	3,672

平成30年度後期高齢者医療特別会計 繰越明許費内訳

(単位:千円)

款・項	事業の内容	繰越額
1. 総務費		
1. 総務管理費	後期高齢システム元号改正対応改修事業	415

平成30年度介護保険事業特別会計 繰越明許費内訳

(単位:千円)

款・項	事業の内容	繰越額
1. 総務費		
1. 総務管理費	介護保険システム元号改正対応改修事業	648

平成30年度公共下水道事業特別会計 繰越明許費内訳

(単位:千円)

款・項	事業の内容	繰越額
1. 総務費		
1. 総務管理費	受益者負担金システム元号改正対応改修事業	650

平成30年度宅地造成事業特別会計 繰越明許費内訳

(単位:千円)

款・項	事業の内容	繰越額
1. 宅地造成事業費		
1. 宅地造成事業費	宅地造成事業	30,810

用語解説	? 繰越し明許費 歳出予算に計上 たものの、年度中に 支出を終わらない見 込みのものについて あらかじめ翌年度に 繰り越して使えるよ うに予算を決めてお くものです。よくあ るのは、道路や公共 施設を作る予算が計 上してあるが、用地 買収に手間取ったな ど地元関係者との調 整が難航している場 合等があります。
------	--

ズバリ！町政を問う



● 村上 登 議員 (13ページ)

1. 災害時の備えについて
2. 町政の統投について

● 高橋 勝 議員 (14ページ)

1. 国民健康保険料(税)のあり方と町の対応について
2. 幼稚園の統廃合について

● 大内 敬子 議員 (15ページ)

1. 旧村田第三小学校校舎の利用と旧村田第四小学校、
旧村田第五小学校跡地の利活用について
2. 谷山温泉の健康入浴券について

● 遠藤 実 議員 (16ページ)

1. 防犯設備と維持管理について
2. 地域活性化ビジョン策定について

● 佐藤 正隆 議員 (17ページ)

1. 基礎的自治体として「今」しなければならない
村田町の仕事は

● 菊地 瞳夫 議員 (18ページ)

1. 町民の命を守る防災・減災について
2. 老人憩の家の施設整備について

● 大沼 吉隆 議員 (19ページ)

1. 平成31年度の農業振興策について問う
2. 平成31年度予算から見る財政状況について問う

一般質問



村上 登議員

災害時の備えについて

住民の安心安全の確保について伺います。

質問1

災害対策本部に必要な機材が備えられている役場庁舎の安全確保（耐震補強等）は。

町長答弁

役場庁舎は、昭和45年に建設されたもので、耐震診断の結果、耐震補強工事が必要な施設となつており、新たに役場庁舎を建て替える方向としている。財源、建設場所、時期等を検討し実施する方向で準備をしている。

質問2

避難所における炊出しは、7カ所としているが、機材、食料は確保されているのか。

町長答弁

炊出しが7カ所の公民館の設備や機材のほか、

日本赤十字社の機材等を活用することとしている。

食料は備蓄食料品のほか、地域防災計画に基づき、災害時における生活物資供給等の協力に関する協定等により確保することとしている。

質問3

災害対策本部と避難所等の連絡、情報確認のための電源確保、各種燃料の確保はされているのか。

町長答弁

防災行政無線を各避難所や地区集会所に備えており、緊急時の連絡体制

の確保を行っている。大型発電機及び小型発電機を備えており、いつでも避難所に配置できるよう

避難所に配置できるようにしている。

自主防災組織の災害活動ツール等の充実は図ら

町長答弁

「自主防災組織支援事

業補助金交付要綱」を定め、補助を行っており、自主防災組織ごとに資器材を整備することとしている。



資器材倉庫

山間部にあるため池の整備点検を実施しているのか。

山間部にあるため池の整備点検を実施しているのか。

質問5

町政の統括について

町の将来像、町づくりの基本理念として、「みんなで育てる自分たちのまち村田」「暮らす人が創る町」を掲げ、世代を超えて伝える町づくりを進めてきた佐藤町長。未

来を切り開き、新たな町づくりを目指した4期目の挑戦をお聞かせください。

町長答弁

平成19年5月、町長就任以来、公平、公正な町政運営を基本として一生住みたくなる町「村田」を目指して町政運営に努めてきました。

町長答弁

議員各位をはじめ、町民の皆様方の温かいご理解とご協力を願い申し上げます。

町長答弁

町管理のため池は、随時点検を実施し、不具合のあった場合は速やかに対処している。

一般質問



高橋 勝議員

国民健康保険料(税)のあり方と町の対応は

質問1

平成30年度被保険者一人当たり7万3千656円になっている。

持続可能な制度にしていくためには基金からの繰り入れで国保料(税)の引き下げは可能では。

町長答弁

本町では、資産割を廃止し、県から通知された標準保険料率を参考に応

るなどし、保険税率の引き下げを行なった。平成31年度も継続して財政調整基金を活用しながら、被保険者の負担軽減に努めたいと考えている。

町長答弁

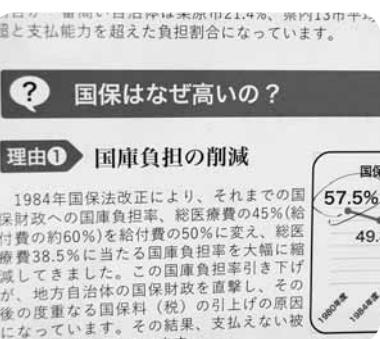
一定の所得以下の世帯

質問2

国保事業年報各年度版より作成

本町では、減免措置が行われている対象者は60%を超えてい

る対象者に対する減額措置に係る軽減判定所得の算定方式の見直しは。



一律・機械的に短期被保険証や資格証明書に切り替えるのではなく、状況に応じた納付計画などを提案しながら保険制度の趣旨を丁寧に説明し、ご理解を得た上で交付を

短期被保険者証と資格証明書の交付は中止しきべきでは。

町長答弁

については保険税を軽減する措置が地方税法に定められており、最大7割、5割、2割の軽減を行っている。

平成31年度は平成30年度と個人が支払う保険料は変わらないのか。

質問3 短期被保険者証と資格証明書の交付は中止しきべきでは。

質問4 平成31年度納付金は、収納率が下がった場合の対応はどうするのか。

各保険料の負担割合

行っている。

平成30年度対比457万円(1.4%)増となっている。昨年度に改正した保険税率で対応できる見込みである。

設定した予定収納率に達しなかった場合は、財政調整基金などから補てんする。

幼稚園の統廃合は

質問

沼辺地区に小学校を残すのであれば、沼辺幼稚園も残すべきでは。

教育長答弁

就学前の児童は小学校とは違い、すべての児童が幼稚園に入るわけではない。基本方針では、保育所のあり方についても検討しており、国の幼稚教育・保育の無償化の制度により、保護者の選択肢は増え、沼辺幼稚園は、平成31年度の入園予定者

は9名となつており、集団教育の観点からも統廃合を要する人数となつてきている。



一般質問



大内敬子議員

旧村田第三小学校校舎の利用と 旧村田第四・五小学校跡地の利活用について

質問1

旧村田第三小学校校舎は、「一般社団法人ふくのね」が運営する「輝再館ふきのとう村田リサイクルシヨップ」として利活用されていますが、どのような施設か。

町長答弁

障がい者支援施設「就労継続支援B型事業所ふきのとう村田」として、一般企業への就労が困難な、特に精神障害を持つ方を中心、就労機会の提供と必要な訓練などの障害福祉サービスを提供している施設。

質問2

どのような手続きを経て貸しているのか。また、どのような経過で貸すことになったのか。

町長答弁

経緯は昭和45年に村田町精神障害者家族会が発足、昭和54年に国の指定を受け、中央公民館裏の町有地に共同作業所「落成33年3月31日まで「一般社団法人ふくのね」に事業を継承したことにより、残期間の平賃借契約を締結している。

質問3

旧村田第五小学校跡地の利活用は。

町長答弁

現在、民間業者等による利活用が促進されるよう、文部科学省による廃校施設の情報と民間事業者等による活用ニーズをマッチングさせる「みんなの廃校プロジェクト」

平成23年11月から5年毎に登録を行い、全国へ向けて情報発信を行つていい。既に、いくつかの問い合わせがあり、現地視察の希望をいただいている。今後、主要地方道岩沼蔵王線のトンネル化等が進むことにより、旧村田第四・五小学校付近の沿道の利用価値も高まつていくものと考えている。

谷山温泉の健康入浴券について

質問1

現時点で、谷山温泉の健康入浴券を申請した人數と割合はどのくらいか。

町長答弁

2月末現在の70歳以上の方は、2千661人。うち、今年度申請者は37人、割合は約1・4%です。

対象年齢や配布方法、さらには事業のPR方法などいろいろな角度から検討を行つてある。検討結果に基づいて、平成30年4月から対象年齢を満70歳以上から、満65歳以上に引き下げて、申請手

ため、早期の利活用を図つていきたい。



旧村田第四小学校

質問2

この制度について、どのような検討を行つたの

15 村田町議会だより 第113号



遠藤 実 議員

防犯設備の維持管理は

LED化によつてどのような経済効果があつたと認識しているか。また、今後の設置計画は。

質問2

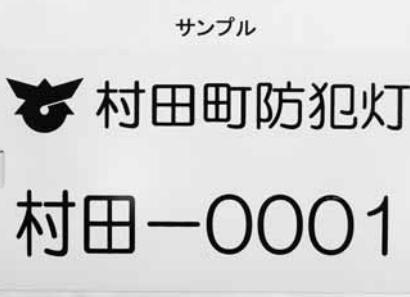
既存防犯灯（蛍光灯・白熱灯）のLED化率は100%です。

防犯灯のLED化率は100%です。

既存防犯灯（蛍

光灯・白熱灯）のLED化率は。

設置しており、平成23年度からLED化に取り組み、LED化率は100%です。



防犯灯の管理番号付与
(新年度より予定)

町長答弁

消費電力が少なく、二酸化炭素の排出抑制と環境への負荷軽減に寄与すると捉えている。年間の電気料で検証すると、約45万円の節減となつている。各地区から新設要望が多く、必要性・優先性を検討し対応を進めている。

が多くの新設要望があり、各地区から新設要望を検討し対応を進めている。

地域活性化ビジョンの策定は

沼辺地区で「地域づくりセミナー」の開催を予定

質問1

階層別（青年層・子育て世代・壮年層等）を対象とした「地域づくりセミナー」開催の考えはあるのか。

町長答弁

町内に1千34灯設置しており、平成23年度からLED化に取り組み、LED化率は100%です。

防犯灯台帳整備や防犯灯への番号付与の進捗は。

今後、若い世代の方や女性の方々を一堂に会した催を考えており、新年度においても沼辺地区で「地域づくりセミナー」の開催を予定している。

質問3

総合教育会議での、再検討課題は何か。

町長答弁

平成30年度の出生者数が予想以上に少ないことが明らかになり、修正を

地域活性化ビジョンの策定は

沼辺新館前地区に大規模な区画整理事業が計画されているが、防災用調整池等の配置計画が考えられるが町の指導方針は。

質問2

土地利用に基づくまちづくり計画を誘導するため、土地区画整理組合設立の許可権者及び調整池の審査機関である宮城県の指導のもと対応する。

町長答弁

地域住民が地域の将来のあるべき姿を考え、その実現のための取り組みなどを、対話を通して地域全体の意識を高め、目指す沼辺の将来ビジョンを地域自らが策定できるよう支援していく。

「総合的な沼辺の将来ビジョン策定」の方向性は。

質問4

加えるべき要因を分析するとともに部局で検討を加えることを確認した。



沼辺の将来ビジョンは



佐藤正隆議員

住むにいい町・住みたい町を目指して 基礎的自治体として…今…しなければならない町の仕事は？

今からの時代の実際の活性化は：限定的な発想しかしない町内

想いではなく、

極集中、少子高齢化、時代の先細りを実感する今日。もつとも住民の近くで、多様な行政需要に応えなけれ

ばならない基礎的自治体の首長に以下を問います。

境再編問題などの町民生活に直結する施策は、可能な限りオープンに周知を図り知恵を集めて進めなければと思うがいかが。

町長答弁

町民の福祉向上を第一に、真摯に、積極的に町民の声を伺い「町づくりの原点は現場から」を基本に町政を運営してきました。

引き続き、子育て環境の充実、地域経済の活性化、協働の町づくりに力を注いでまいります。

村のおばあちゃん手作りの漬物百家の道の駅

・仙台近郷のうまい野菜がそろう青物の町など、楽しくなる『町おこし・アイデアの町』を提案しますがどうですか。

これまで、竹の内事件の原因者は役場を含めた町の人間たちだから、その一層の関与があるべきだと思つてきました。

現場や操業状況に詳しく述べる会など関係者連名で施設は、平成19年3月に

町長答弁

町民の町村田であって、役場職員の村田町ではありません。もう少し町民に開かれた方が良いのでないでしょうか。

町長答弁

外部からのアイデア導入は設立した町づくり会です。

現場や操業状況に詳しく述べる会など関係者連名で施設は、平成19年3月に

焼却炉の撤去は周辺にめられて、今に至っています。

現実の生活者の描く望みの実現です。

取り組んでおります。

質問2

賑わい創出とした限定的な町並み保存ではなく、町域全体の均質な活性化を逆手に取った全員参加の子育ての町

果的なオリジナル施策は：

- ・町の立地を生かし、逆境を逆手に取った全員参加の子育ての町



竹の内産廃に虹が懸かる(H19.4)

質問1

進行する一極集中、少子高齢化、時代の先細りを実感する今日。もつとも住民の近くで、多様な行政需要に応えなければと思うがいかが。

発議一年になる教育環

境再編問題などの町民生活に直結する施策は、可能な限りオーブンに周知を図り知恵を集めて進めなければと思うがいかが。

質問3

これまで、竹の内事件の原因者は役場を含めた町の人間たちだから、その一層の関与があるべきだと思つてきました。

町、地権者会、地域、守る会など関係者連名で

町長答弁

現場や操業状況に詳しく述べる会など関係者連名で施設は、平成19年3月に環境大臣の同意を得て、県に要望した竹の内浄化策に生かした完全無害化の環境再生を行うよう、町の一層の自覚を促したいと思います。



菊地睦夫議員

町民の命を守る防災・減災について

東日本大震災より8年が経ち、いまだ復興事業は続いている。2月10日に中央公民館で行われた公明党の「震災より8年の軌跡」の写真展において、当時被災した方が自分の体験を涙ながらに語られ、命の尊さと防災の重大さを語っておられました。

そして2月26日の毎日新聞に宮城県沖でマグニチュード7から7・5の大地震が30年以内に90%の確率で起きると報道された

ペットを飼っている人たちの避難所の対応は考えているのか。

東日本大震災より8年が経ち、いまだ復興事業は続いている。2月10日に中央公民館で行われた公明党の「震災より8年の軌跡」の写真展において、当時被災した方が自分の体験を涙ながらに語られ、命の尊さと防災の重大さを語っておられました。

支障をきたす方は「福祉避難所の指定の協定」を結び町内3カ所の福祉施設に避難所を確保しています。

町長答弁
考へているのか。

災害が発生した場合、各避難所に病気の方、外国人、身体の不自由な方、妊婦の方等の配慮すべき方々の個別スペース等は

ことを踏まえて、本町での防災・減災の対策について伺う。

質問1

災害が発生した場合、各避難所に病気の方、外

会で飼育場所・ルールを定めることになっている。

質問3

東日本大震災の折、全

国の皆様より頂いた物資を使用できるうちに必要な方に配布すべきと思うがいかがか。

町長答弁

支援物資については、

災害発生時の対応に活用しており、各種団体からの申し入れがあれば隨時配布し有効活用しています。

老人憩の家の施設整備について

先日、町民の皆さんから老人憩の家の現状についての苦言を頂きました。冬は寒く、お風呂には入らない、夏は蛇が入つてくるので気持ちが悪いとの悪評が出ました。この件に対しても質問させていただきます。

町長答弁

手すりは利用者が使用しやすい位置となるよう改善をしてまいります。入浴するための通路の囲んでいる部分の改修は谷山温泉と今後相談したいと思います。



老人憩の家廊下

廊下についている手すりが低い、また、谷山温泉に入浴する場合通路の足元と上の方にも隙間があり冬場は風呂に入りた

避難施設内は、補助犬以外は入れないので連れてきたペットは、避難者でつくる避難所運営委員

ペットを飼っている人たちの避難所の対応は考えているのか。

廊下についている手すりが低い、また、谷山温泉に入浴する場合通路の足元と上の方にも隙間があり冬場は風呂に入りた

一般質問



大沼吉隆議員

質問1

中山間地及び小規模農地の基盤整備を !!

今まで基盤整備事業として支援が届かなかつた、中山間地の小規模な農地の整備に向け、国の「農地整備・集約協力金」制度を広く周知し活用すべきと思うが、町長の考え方を問う。

町長答弁

この制度は、農地中間管理機構関連農地整備事業であり、今後、中山間地域に限らず、実施要件に該当する地域については、農地中間管理事業の取組みを考えていくところです。

質問3

平成30年度決算における実質単年度収支の見通しと、財政調整基金の年度末残高をどう推計してのか。

町長答弁

平成30年度実質単年度収支の見通しについては、昨年度同様赤字になると見ており、特に物件費



メッシュ柵で囲まれた農地

イノシシ対策メッシュ柵設置の支援を

質問2

昨今のイノシシ被害について、農作物への被害にとどまらず、農業用排水路及び生活道の法面（敷地）等まで破壊され



メッシュ柵の構造と設置

るなど、日常の生活にも悪影響が出ている状況にある。そこで被災対策の一環としてある、メッシュ柵の設置に向け、町としても支援すべきと思うが、町長の見解を問う。

止策として、メッシュ柵拡大する鳥獣被害の防

立を支援していく。

町長答弁

が、町長の見解を問う。

企画財政課長答弁

実施する事業が、町民の利便性・経済効果・納税者の理解を得られる支出か、税金の使い方は公平性・透明性が担保されているか、町民目線で検証すべきと思うがどうか。

追質問

収入増が期待できないなか、歳出、特に物件費の圧縮が必要だ。

年94%と高止まりしており、抑制策を考えているのか。

企画財政課長答弁

減少幅は毎年7から8千万円減っている。その年々の取組みによつて基金を取り崩してきた。

ているのか。

平成31年度予算から見る財政状況について問う

追質問

財政調整基金について、ここ5年間で4億6千万円減少している。この状況をどう見

析している。以上の点から財政調整基金の平成30年度末残高は、2億7千万円程度と見込んでいる。

企画財政課長答弁

行政改革等取組みのなかで重要なと思う。地域住民の実情を把握し町民目線で、住民サービスを行いう必要がある。

村田小学校と村田第二小学校の子ども議会 村田高校生と議員のワールドカフェ

こども議会 開催

2月6日に村田小学校6年生、19日には村田第二小学校6年生が子ども議会を開催しました。



村田第一小学校（6年生）



村田小学校（6年生）

各小学校6年生の子どもたちの中から「議長役」と「議員役」に分かれ「模擬議会」を体験しました。

「町の仕事や取り組みについて」の質問は佐藤町長が答弁し、「議会について」の質問は大沼議長が答弁しました。

子ども議会は、将来の村田町を担う子どもたちに、議会の重要性や仕組みを学び、町政に対する理解と関心を深めてもらうことを目的としています。

子ども議会は、将来の村田町を担う子どもたちに、議会の重要性や仕組みを学び、町政に対する理解と関心を深めてももらうことを目的としています。

村田高校3年生との 議会懇談会開催

2月15日、村田高等学校にて、議会活動に対する認知度の向上と、若者がまちづくりを考えるきっかけとするため、村田高校3年生と、ワールドカフェ方式で懇談会を開催しました。

議員や生徒等42人が参加し、7テーブルに分かれて、「みんなで考える20年後の村田町の未来」をテーマに話し合いを行いました。参加した生徒

ワールドカフェとは
メンバーの組み合わせを変えながら、リラックスした雰囲気で行う話し合い。



からは、「歳がはなれていても、思っていることが似ているところもあったので大人に對する考え方があつた。」「大人の話が聞けて、学んだことがあつて良かった。」など多くの感想がありました。

「大人の話が聞けて、学んだことがあつて良かった。」など議会としても、新たな気づきがあり、今後の取り組みの参考となりました。

全国・宮城県・仙南地方 町村議会議長会 自治功労者表彰



【宮城県町村議会議長会】
自治功労者表彰 3名
大沼克巳 議長・太田初美 副議長・吉野敏明 議員
【仙南地方町村議会議長会】
自治功労者表彰 3名
佐藤正隆 議員・村上登議員・渡辺元道議員

町村議会議員として、長年地方自治の振興発展に寄与した功績により、本議会より6名の議員が表彰を受けました。

町村議会議員として、長年地方自治の振興発展に寄与した功績により、本議会より6名の議員が表彰を受けました。

総務民生常任委員会

常任委員会

リポート

会計について(1月21日実施)

「会計」：財務に関する事務のうち、予算の執行、契約の締結及び公有財産の管理を除き、地方公共団体の現金、有価証券及び物品の出納、保管並びにこれらに付帯する事務をいいます。

●委員会所見

平成28年10月より本町の指定金融機関となつた「仙南信用金庫」との業務委託

については、今後も公金の取扱いの効果的運営と安全性を図り適正な運用となるよう指導・監督に努めること。

また、予算に基づき適

正な支出が行われているかを厳正に審査し、支出の適正化に努めると共に法令、規則等に違反していないかを審査し、公金の取扱いの適正化に継続して努めるここと。会計事務は町民のライフラインでもあり、これまで同様、適正かつ迅速な事務が行われるよう、これからも努力されたい。

教育行政について(1月18日実施)

1. 学校給食の給与栄養量について
2. 廃校施設について
3. 学校教育環境等のあり方の基本方針について

●委員会所見

1. 学校給食の給与栄養量について

村田町の学年別推定エネルギー量は、体格に応じた文部科学省の学校給食摺取基準を設定している。平成30年村

田町学校給食の給与栄養量の状況について(充足率)は、概ね基準を満たしているが食物繊維が不足している状況が散見されたので改善されたい。

2. 廃校施設について(旧村田第四、第五小学校現地調査)

旧村田第四小学校校舎は、廃校当時のままの状況となっており、体育館内は倉庫として活用され、主に東日本大震災の支援物資等が散見された。東日本大震災の発災後8年が経過することを考えれば、支援物資等の管理のあり方につ

産業建設教育常任委員会

1. 学校給食の給与栄養量について検討が必要と思われる。支援物資(ランドセル・毛布・飲料水・生活用品)等は、善意の支

いて

援物資であるものの、中身を確認し、消費期限、使用期限の過ぎたものや不用と思われるものは何らかの方策を講じられたい。旧村田第五小学校校舎も、廃校当時のままとなつて、

いたままでおり、処分すべきである。総括的に整理整頓を行い環境整備に努められたい。跡地の利活用について、売り払いを含め、町の方針を確立すべきと考える。

2. 廃校施設について
3. 学校教育環境等のあり方の基本方針について

学校教育環境等のあり方の基本方針の地区説明会後に、部門別に課題の掘り出しや対応を進められているが、今後は調査検討の進捗に併せて、多くの町民から意見徴取する機会を設け合意形成を図られる

べきである。総括的に整理整頓を行い環境整備に努められたい。跡地の利活用について、売



旧第四小学校体育館内の災害支援物資等



旧第五小学校体育館内

町民の声

おいしい米作りを

佐藤 正夫さん(沼辺北)

農業従事者の高齢化、後継者不足と農業を取り巻く環境が一層厳しくなる中、私は、品種にこだわり育苗に工夫を凝らして水稻栽培に取り組んでいます。荒れた農地にも作付けを試みる努力もしていますが、将来的の不安拭い去ることができません。

そのような状況下で、町は「ほ場整備事業」を推進しています。日本農業の食文化を守り、おいしい米作りをするためにも、農業の在り方を模索しなければならない時期にきてています。微力ながら私もその一員として、農家の人たちと共に研鑽を積み、尽力していくたいと思います。



次の定例会は 6月11日より開会予定です

本会議の様子をインターネット中継で配信します。

村田町ホームページアドレス(下記)より

<http://www.town.murata.miyagi.jp/>

コンテンツ「議会」から「議会中継」へアクセスしてください。

本会議の日程については、町ホームページの「本会議開催予定表」でお知らせしています。

議会を傍聴しませんか
議会はどなたでも傍聴できます〔定員22人〕

村田町議会公式Facebook
はじめました

詳しくは議会事務局まで TEL83-6410



そら豆栽培の様子（村田第二小学校）

編集後記

■新元号【令和】が発表され、梅の生産者の喜びの声が上がったとか。ホント新しい時代の始まりを感じました。

■新年度が始まりました。進学・就職・人事異動など多くの人が新しい環境でのスタートです。

■希望に胸を躍らせている人、そうではない人もいるかも。

■まずは、健康が第一。規則正しい生活を心がけ、笑いのある日常を過ぐられることを願うものです。

議会広報編集審査特別委員会
委員 大沼 吉隆

発行・編集責任者
議長 大沼 克巳
議会広報編集審査特別委員会

委員長	高橋 勝	委員長	正隆	委員長	陸夫	委員長	吉隆
副委員長	佐藤 佐	副委員長	菊地 大沼	副委員長	大鈴木 保博	副委員長	大内 敬子
委員	大沼	委員	吉隆	委員	大鈴木	委員	大内
委員	吉隆	委員	敬子	委員	大内	委員	大沼